



水産

農林水産部 水産漁港課  
福田さん

◎ 経歴（採用12年目）

2020年度～ 農林水産部 水産漁港課  
（うち、第一子9ヶ月・第二子8ヶ月育児休業）  
2016年度～ 水産振興センター  
2012年度～ 農林水産部 水産漁港課

・2023年度からは、保育休暇や育児部分休業を利用

◎ ある日のスケジュール

6:30	起床
7:00	子どもの朝食、登園準備
7:40	子どもを送り出す（夫と登園）
8:30	出勤、メールチェック、資料作成
12:00	昼休憩
13:00	WEB会議に出席
16:15	退庁 ※ 1時間の育児部分休業を取得
17:00	子どもを迎えに行く
18:30	夕食
19:30	子どもと入浴
21:00	子どもと寝室へ・寝かしつけ
22:00	就寝

Q 育児休業を取得しようと思ったきっかけ（理由）は？

育休を取得してから復職している先輩や同僚を見ていたので、自然に自分も取得しようと思いました。第一子の育休は3月31日までの予定でしたが、新年度入園児の慣らし保育は4月以降でないといけないことを入園申込み時に知り、職場に2週間の育休延長を申し出たところ、快く了承していただきました。

Q 育児休業を取得することに不安はありませんでしたか？

長期間仕事から離れることに不安はありましたが、周りの職員の皆さんが温かく送り出してくださり、ありがたかったです。また、収入面の不安もありましたが、育児休業手当金等の制度があることから、大きく減収せずに過ごせたことは心強かったです。

Q 育児休業を取得した感想を教えてください。

首がすわった、初めて離乳食を食べてくれた、ハイハイが上手になったなど、子どもの成長を間近で感じることができたのが何より嬉しかったです。慣れない育児や寝不足の毎日は体力的にも精神的にも大変なことが多いですが、育休取得により子育てに専念することができました。24時間子どもと過ごす日々は人生の中できっと育休中だけだと思うので、とても貴重な時間でした。

Q 職場復帰はスムーズにいききましたか？

システムや制度が変わっていたりと戸惑うこともありましたが、周りの方々にサポートしていただきながら徐々に仕事に慣れることができました。子どもの体調不良により急遽休むこともあることから、効率的に仕事を進めることを意識しています。

Q 職場復帰後の子育てと仕事の両立はどうしていますか？

第二子出産後は保育休暇等を利用して1時間早く退庁しています。テレワークを組み合わせ空いた時間に家事をすることもあります。家庭ではネットスーパーを利用したり夜間に洗濯乾燥機を稼働したりと、時間と労力をかけずに「楽できることは楽しよう！」の精神で過ごしています。残業ができないなど制限も多いですが、上司や同僚の理解とサポートにいつも感謝しています。

＼ 県職員を目指している方へメッセージ！ ／

私の職場にも保育休暇や育児部分休業、時差出勤制度を利用している職員がおり、各々のライフスタイルに合わせた柔軟な働き方が可能です。県職員は国や市町村とのやりとり、県民との対話、現場作業など様々なことを経験できるので、自身のスキルアップにも繋がります。

※掲載事項は2024年2月末時点のものです。